

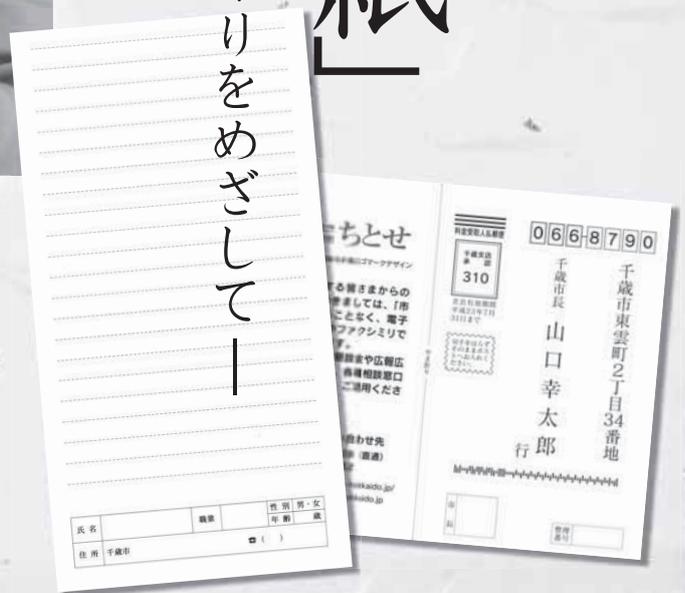
特集

「市長への手紙」

—市民参加と協働によるまちづくりをめざして—



市は、市民の皆さんの声を市政に反映させ、同時に市政への信頼や関心を高めるため、さまざまな市民参加の場をつくっています。市民の「市政参加」のひとつとして行っている「市長への手紙」。今年度は、道路整備、職員の対応、観光など、市政の運営などに関して、80件141項目のさまざまな意見が寄せられました。今月の特集では、皆さんから寄せられた意見の一部を紹介します。



「市長への手紙」とは？

「市長への手紙」は、平成8年度から毎年実施しており、今年度で16回目です。

広報ちとせ6月号外で配布する用紙に意見などを記入し、市長あてに郵送（郵送料は市が負担）していただきます。

いただいた手紙のうち、匿名によるものを除き、住所や氏名などが記載され、送付した方が確認できる手紙には、市長直筆の署名が入った「回答文」または「礼状」をお送りしています。

意見の内容は？

今年度は、6月から7月までに80件の手紙が届けられました。

特に多かった意見は、道路整備や交通標識などに関わる手紙で、19件ありました。

また、職員の対応などに関わるものが11件、観光に関わるものが9件となっています。

そのほか、幅広く市政に関わるものや一身上の悩みごとなど、市民の皆さんから貴重な意見が寄せられました。